

CONTENTS

第39巻 第1号 2012

原著

- Comparison of Remifentanyl and Landiolol on Hemodynamic and Plasma Catecholamine Responses to Tracheal Intubation Kazuyoshi Ishikawa et al... (1)
- Radial Shortening Osteotomy Using Volar Locking Plate for Kienböck's Disease Denju Osada et al... (9)
- NMDA Component of the Excitatory Synaptic Transmission of Neurons Containing Serotonin or GABA in the Ventrolateral Subdivision of the Periaqueductal Gray Matter of Mouse Kenshu Shirakawa... (17)
- Diagnostic Validity of DNMT-1 and 3b Immunoreactivity in Non-neoplastic Epithelium of UC Patients with and Without Neoplasia Hiroyuki Tanaka et al... (29)
- Apo-E KO (ApoE^{-/-}) マウスにおける Ezetimibe の抗動脈硬化作用 助川敦子 他... (37)
- 当院における高カルシウム血症の病因・病態の解析と治療
—高カルシウム血症クリーゼも含めて— 作田亜有子 他... (45)
- 右室流出路中隔ベーシングにおける自動閾値計測管理の長期フォロー結果 虎溪則孝 他... (57)
- 三次元解析による口腔扁平上皮癌の浸潤様式と MMP-2, MMP-9 および MT1-MMP の発現に関する研究 城守美香 他... (67)

症例報告

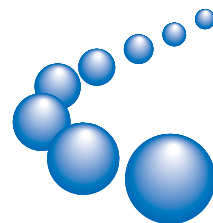
- A Case in which Water Intoxication due to Excessive Water Ingestion did not Inhibit the Secretion of Arginine Vasopressin Shota Ishibashi et al... (77)
- Long Survival Case of Trisomy 13 Mosaicism in a 7-year-old Male George Imataka et al... (81)
- Measurement of Tissue Stiffness with Virtual Touch Tissue Quantification in Two Cases of Spleen Tumor Dan Ichikawa et al... (85)
- MALT リンパ腫の放射線網膜症に汎網膜光凝固で良好な経過であった症例 岡本洋幸 他... (91)

短報

- 白内障手術時の残存皮質を安全に除去する器具の考案 岡本洋幸 他... (97)

学位申請論文

- 舌扁平上皮癌における SDF-1/CXCR4 発現と臨床病理的因子との関連について ... 中津川周生... (T 1)
- FDG-PET/CT における空腸・回腸への集積例の検討 菅谷武史... (T13)
- イルベサルタンの糖・脂質パラメーターに対する効果 高野和彦... (T21)
- 頸椎症性脊髄症に合併する高血圧に及ぼす脊柱管拡大手術の効果 糸岐一茂... (T25)
- 冠動脈疾患患者における血漿エイコサペンタエン酸/アラキドン酸比の男女差の検討 北川善之... (T33)
- 嚢胞性転移性脳腫瘍に対する嚢胞吸引/GKRS (Gamma Knife Radiosurgery) 同日施行法 樋口美未... (T37)



Dokkyo Medical Society
Dokkyo Medical University
Mibu, Tochigi, 321-0293, Japan

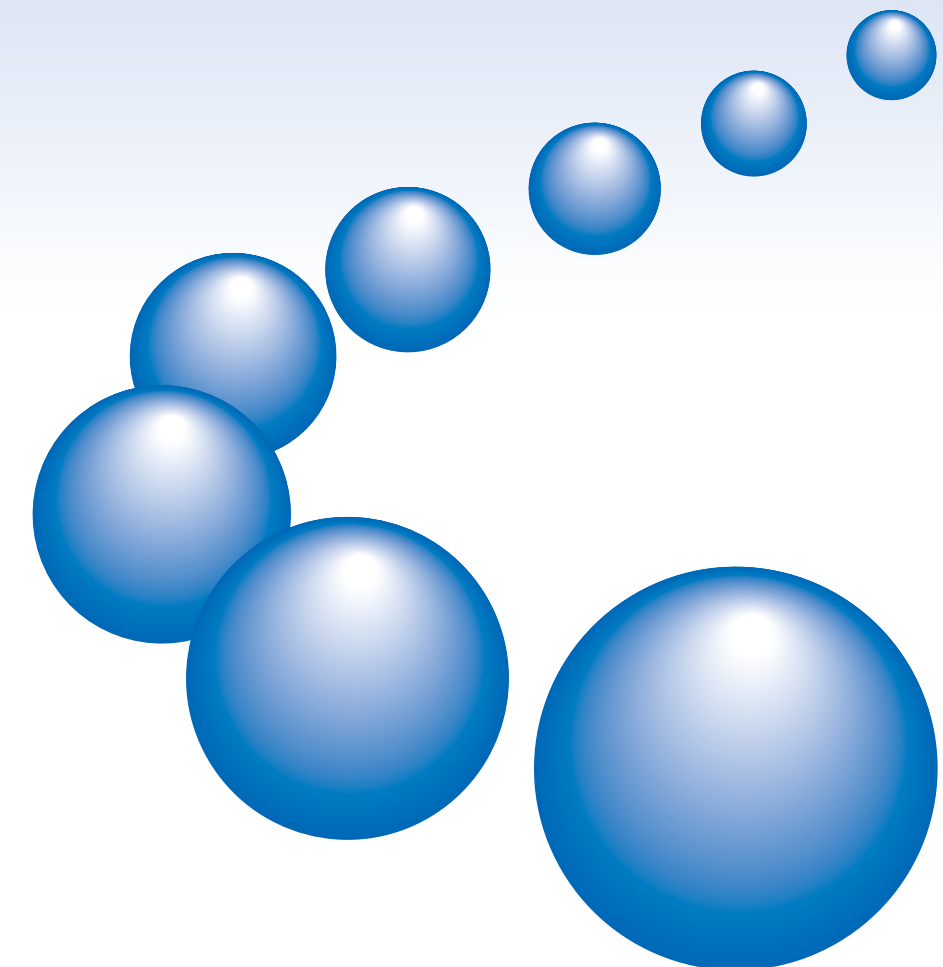
DOKKYO JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES

Vol.39, No.1

March 2012

DOKKYO JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES

Vol.39, No.1, March 2012



獨協医学会雑誌



- I. 本誌の投稿論文は、和文または英文で、その内容が他誌に投稿中または掲載されていないものに限る。投稿に際して著者は、二重投稿でない旨を記した誓約書にサイン・捺印し、添付する。人体を対象とした研究では、ヘルシンキ宣言について述べられているように、科学的および倫理的規範に準じていなければならない。被験者には研究内容についてあらかじめ十分に説明し、自由意志に基づく同意（インフォームドコンセント）取得と記載が必要である。動物を対象とした研究では、動物愛護の立場から適切な実験計画を立て、全実験期間を通じて飼養および保管に配慮した旨の記載が必要である。
- II. 投稿者は獨協医学会会員に限る。
- III. 投稿論文は複数のレフリーによる査読を経た後に、その採否、掲載順序などを編集委員会が決定する。掲載後の全ての資料の著作権は編集委員会に属し、他誌への無断掲載は認めない。
- IV. 原稿は次の形式とする。
- (1) 原著 (2) 症例報告 (3) 短報 (4) 総説
 - (5) 通信 (6) 学位申請論文 (7) その他
- (1) 原著：次の様式とする。
1. 原稿は、A4 版用紙を用い、ワードプロセッサにて白紙 1 枚に比較的大きなフォントの読み易い文字で和文の場合 20 字×20 行（マージンを大きくとる）、英文ではダブルスペースで印字する。和文中の外国語言語は欧文フォントを使用し、外来語、植物学名、外国人名、および外国地名などの日本語化した語はカタカナ表記（全角）を使用する。和文、英文ともに頻用される語は略号を用いても良いがなるべく少なくする。略号は初出に正式な語を記し、続けて（略号）を記載する。
 2. 原稿は、A4 版用紙 25 枚以内とし、正 1 部、副 2 部、計 3 部を提出する。但し、副については本文、文献、抄録、図表に限りコピーで良いが、写真は正原稿と同じものとする。
 3. 原稿の記述は、和文の場合、表題、欄外見出し（簡潔表題）、著者氏名、所属、連絡先住所、電話番号、FAX 番号、要旨（500 字以内）、索引用語（和文 5 語以内）、本文（緒言、方法、結果、考察、結論）、文献、英文表題、ローマ字著者名、英文所属、英文要旨（ダブルスペース 300 語以内）、Key Words（5 語以内）、の順とする。英文の原稿も原則として上記に準ずるが、簡潔表題（running title）は 40 文字以内とし、和文要旨、和文キーワードなどは不要。
 4. 図（写真を含む）と表は別紙とし、図 1 あるいは表 1 の様に番号をつける。原稿には図表の挿入箇所を欄外に朱記する。図表の原稿はそのまま印刷出来る様に白紙に黒インクまたは印画紙に焼き付けた鮮明なものにする。またそれらの大きさは、刷り上りで 1/4 頁を原則とする。写真は裏面に筆頭者氏名、番号、上下を記入する。図表の説明は和文の場合、日本語、英語のどちらも可であるが、英語を選択した場合、表は順に Table 1、Table 2、とし、図（写真）は順に Fig 1、Fig 2、と記載する。カラー印刷、またはトレーシングを必要とする場合は実費を徴収する。
 5. 数字は算用数字を用い、計量単位は SI 単位を原則とする（例 mg, g, kg, mg/dl, ml, l, mm, cm, m, cm², °C など）。
 6. 文献
 - 1) 文献は本文中に引用番号順に配列し、論文の最後に文献としてまとめる。和文、英文ともに「印刷中」あるいは“in press”は文献として記載するが、私信などは本文中あるいは脚注に記載することとする。
 - 2) 文献は次の形式による。著者名、論文表題、雑誌名、巻、頁（始めと終わりの頁）、発行年（西暦年号）。
 - 3) 雑誌名の略号は Index Medicus を参考とし、和文雑誌名は略記しない。

- 4) 著者名は、日本人は姓と名、外国人は姓と名（頭文字）とする。
 - 5) 単行本の引用には著者または編集者、書名、出版社名とその都市名、引用頁、発行年を記入する。
 - 6) 著者名、編者名が 4 名以上の場合は最初の 3 名を書き、他は、他、また et al とする。
- 例 1) 酒井昇, 中丸裕爾, 栗原秀雄, 他：甲状腺嚢胞に対するエタノール硬化療法の試み。耳鼻と臨床 44：12-15, 1998.
- 例 2) 清水潤, 西山和利, 武田浩一, 他：筋生検所見で type II atrophy を認めた進行性半側萎縮性の 1 例（抄）臨床神経学 31：93, 1991.
- 例 3) Sandman K and Reeve JN：Origin of the eukaryotic nucleus. Science 280：501, 1998.
- 例 4) Kerkar N, Hadzic N, Davies ET, et al：De-novo autoimmune hepatitis after liver transplantation. Lancet 351：409-413, 1998.
- 例 5) 大澤美貴雄：視覚刺激による事象関連電位（ERP）、臨床誘発電位ハンドブック。黒岩義之、菌生雅弘（編）、中外医学社、東京、pp210-213, 1998.
- 例 6) Tanaka H, Hodumi A, Iwai T, et al：Evaluation of ERPs electrical field distribution in cortical and subcortical dementia. in “Brain Topography Today”. ed by Koga Y, Nagata K, Hirata K. Elsevier Science BV, Amsterdam, pp544-551, 1998.
- (2) 症例報告
- 1) 書式は原著に準ずる。但し、要旨は 300 字以内、索引用語は 3 語以内とする。
 - 2) 原稿の長さは A4 版用紙 10 枚以内とする。
- (3) 短報
- 1) 独創的な研究、工夫、仮説などを内容とする。
 - 2) 書式は原著に準ずる。但し要旨は不要とし、索引用語は 1 語とする。
 - 3) 原稿の長さは A4 版用紙 4 枚以内とする。
- (4) 総説
- 原則として編集委員長からの依頼により投稿されるものとし、A4 版用紙 20 枚以内、その他は原著に準ずる。
- (5) 通信
- 必ずしも学術的な内容に限らず、広く会員の医療活動に関するものとする。
- (6) 学位申請論文
- 「学位申請論文の執筆投稿指針」を参照する。
- (7) その他
- 編集委員会が認めたものとする。

V. 備考

1. 投稿にあたっては、人権を損なう恐れのないように配慮するのみならず、実験動物の論文においても、動物の維持・管理や疼痛の緩和などに配慮し、研究計画が研究実施機関の倫理委員会や動物実験委員会等によって承認された研究であることを明記する。
2. 論文掲載が決定した後、最終原稿を収録したフロッピーディスク（3.5 インチ、TXT 形式で保存、ソフトは指定しないが使用機器名、ソフト名を明記する）を提出する。
3. 著者校正は初校のみとする。校正は誤植、組版の誤りを訂正することにとどめ、内容を変えないこと。
4. 掲載原稿、フロッピーディスクは返却しない。
5. 刷り上り 1 頁は和文原稿用紙（20 字×20 行）5 枚分を目安とする。
6. 掲載料は、次の基準による。
 - 1) 別刷は 30 部まで無料とし、それ以上は実費とする。
 - 2) 依頼された総説は無料とする。
 - 3) 特別掲載については別に定める。

CONTENTS

Vol. 39, No. 1, 2012

Originals

- Comparison of Remifentanyl and Landiolol on Hemodynamic and Plasma Catecholamine Responses to Tracheal Intubation Kazuyoshi Ishikawa et al... (1)
- Radial Shortening Osteotomy Using Volar Locking Plate for Kienböck's Disease Denju Osada et al... (9)
- NMDA Component of the Excitatory Synaptic Transmission of Neurons Containing Serotonin or GABA in the Ventrolateral Subdivision of the Periaqueductal Gray Matter of Mouse Kenshu Shirakawa... (17)
- Diagnostic Validity of DNMT-1 and 3b Immunoreactivity in Non-neoplastic Epithelium of UC Patients with and Without Neoplasia Hiroyuki Tanaka et al... (29)
- Anti-atherogenic Effect of Ezetimibe in Apo-E Knockout Mice Atsuko Sukegawa et al... (37)
- The Etiology, Clinical Features and Management of Hypercalcemia and its Crisis Ayuko Sakuta et al... (45)
- Long-term Follow-up of Automated Right Ventricular Outflow Septum Capture Management Noritaka Toratani et al... (57)
- Three-dimensional Analysis the Mode of Invasion in Oral Squamous Cell Carcinoma and the Correlation Between its Results and the Expression of Matrix Metalloproteinases (MMPs) Mika Shiromori et al... (67)

Case Reports

- A Case in which Water Intoxication due to Excessive Water Ingestion did not Inhibit the Secretion of Arginine Vasopressin Shota Ishibashi et al... (77)
- Long Survival Case of Trisomy 13 Mosaicism in a 7-year-old Male George Imataka et al... (81)
- Measurement of Tissue Stiffness with Virtual Touch Tissue Quantification in Two Cases of Spleen Tumor Dan Ishikawa et al... (85)
- Successful Treatment of Radiation Retinopathy with Panretinal Photocoagulation (PRP) in a Patient of Orbital MALT Lymphoma Hiroyuki Okamoto et al... (91)

Short Communication

- A Novel Instrument for Safety Removal of Cortex Material Surrounding an Incision Hiroyuki Okamoto et al... (97)

Doctoral Treatises (T1~T42)